

12月12日開催 庄内さくら学園開校に向けた第2回保護者説明会における質問と回答

※別途、市HPの庄内さくら学園に関する質問に対する記載もあわせて掲載しています。

【学校運営に関すること】

質問内容	回答
学生証は発行されますか。	7～9年生は生徒証明書を発行します。5、6年生につきましては、検討中です。
私立中学校や支援学校に進学する際は、小学校の卒業証書等は、発行されるのでしょうか。	前期課程(1～6年)の修了証書等を発行予定です。
令和5年度の入学式・始業式が豊中市の通常よりも遅れますが、夏休みに入るのもずれるのでしょうか。	令和5年度につきましては、1学期の終業式を1日後ろにずらし、令和5年7月21日とする予定です。
1学級は何人程でになりますか。	およそ30～40名前後となる見込みです。
スクールガイドには、1～6年生は35人学級、7～9年生は40人学級編成となる予定と記載されています。しかし、表を拝見すると、2・7・8年生でその人数をオーバーしています。	スクールガイド、6ページに記載されている児童生徒数は、各学年の全児童生徒数が記載されています。児童生徒には、通常学級・支援学級に籍を置く児童生徒がいるためです。通常学級の学級編成においては、支援学級在籍の児童生徒の数は、カウントせずに学級編成を行います。そのため、実際に教室にいる児童生徒の数が、35人・40人学級を超える場合がでてきます。
庄内さくら学園の教職員は、現在の庄内・野田・島田小学校、庄内さくら学園中学校の教職員がメンバーの主体になるのでしょうか。	今後、校長と相談しながら決定していきます。
先生と児童(生徒)の対比率は今と比べてどのくらい変化しますか。	3つの小学校が1つになり、総学級数が減少するため、教職員の定数は減少します。校長・教頭含め教員1人あたりの児童数は、現在12人程度ですが、義務教育学校開校時は、17人程度となる見込みです。しかし、市費により教員を増員し、15人程度になる見込みです。
教職員の数が限られていることで、教職員の掛け持ちや時間割がなかなか決まらないなど、保護者に負担が発生しないでしょうか。	今後、授業の割り振り等は、校長と相談しながら決定していきます。公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、保護者の方々の負担が生じないよう必要な教職員が配置されます。また、教科によって少人数化すること、AETの派遣や施設一体型の強みを活かした専科教科を積極的に実施するなどの工夫を凝らした学校運営を行うこととしています。さらに、管理職においても、豊中市で初めて副校長を配置するとともに、各ステージにステージ長を配置するなど学校の管理体制についての強化も検討しているところです。
校長が1人で9年間を見るには、守備範囲が広すぎますし、一方で複数人で見ると責任が曖昧になりかねません。また、教職員も含めて体制はどのようになっているのでしょうか。	庄内さくら学園の管理職は、校長1人、副校長1人、教頭2人です。また、各ステージには、ステージ長を配置いたします。また、教職員の組織図となる校務分掌表があります。

質問内容	回答
小学校・中学校で免許が違いますが、中学校の教職員が1～6年生も教えることはできるのでしょうか。	中学校教諭については、所有する教科のみ1年生～6年生までの授業を担当することが可能です。
小学校の先生が中学校の授業を教えたり、部活動を指導するなどはあるのでしょうか。	後期課程(7年生～9年生)の教員が所有する教員免許状の教科については、前期課程(1年生～6年生)の授業を担当する場合も想定されます。また、前期課程の教員で中学校免許を所有している場合は、所有する教科の後期課程の授業を担当する場合も想定されます。あわせて、今後の小中一貫教育における柔軟な運用の可能性を検討していきます。部活動につきましては、7～9年生の教職員を中心に指導をお願いし、5,6年生の教職員には、5,6年生の子どもが参加する場合のサポートを中心に指導いただくことを考えています。
来年度の庄内さくら学園の学級編成は、どのように実施されるのでしょうか。	庄内さくら学園のクラス編成においては、事前に庄内・野田・島田小学校の教職員が情報共有を行いながら、実施します。
1～9年生が同じ時間にグラウンドで遊ぶことはありますか。その際は、危なくないでしょうか。	20分休憩や昼休みは、異学年交流や児童生徒活動を設定できるように時間をあわせています。そのため、1～9年生がグラウンドで遊べる状況です。児童・生徒には、遊び方のルールづくりや安全面に配慮した指導をいたします。

【学習に関すること】

質問内容	回答
庄内さくら学園の学習の方針はあるのでしょうか。	庄内さくら学園では、教育目標・めざす子ども像、ステージごとの3つの力や各教科のステージごとのつきたい力を全教職員で共有するだけでなく、授業研究や学力向上に向けた会議を重ねてきました。スクールガイドP.11、12に示しているように、授業の中でつながる力・まなぶ力・つくる力の3つの力を育み、9年間を見通した系統的な学習を進めていきます。
庄内さくら学園のリーフレットに記載されている主体的、対話的な深い学びとは学力向上ということに結びつくのでしょうか。	主体的、対話的な深い学びは、文部科学省の定める学習指導要領に基づく方針でもあります。主体的、対話的な深い学びの視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けるようにするとともに、学びに向かう力、人間性とを育むことで、予想がつかない未来、答えのない問いに真正面から向き合い、よりよく生きることにつながる学力を総合的に育んでいきます。

質問内容	回答
子どもたちの学力に応じた対応は検討されているのでしょうか。	これまでも、少人数指導や、中休み・昼休み・放課後に教職員の皆さまが、学習の遅れのフォローなど様々な取組みをいただいていた。引き続き、庄内さくら学園でも少人数指導などに取り組むとともに、市事業である土曜学習・日曜学習との連携や、コミュニティ・スクールの機能を活用して地域の皆さまにご協力をいただきながらの学習支援や校外の学習場所の確保なども検討をしています。
7年生は、中学1年生の教科を履修するのでしょうか。	7～9年生は中学1～3年生の学習指導要領に則り、学習を進めます。また、9年間のカリキュラムを系統立て、教科ごとに工夫をして、学習を進めます。

【標準服等に関すること】

質問内容	回答
ハーフパンツは、7～9年生も着用可能ですか。	着用可能です。
標準服は、120cmなどの小さいサイズには対応していませんか。	小さい・大きいにかかわらず、標準服は対応しています。ただし、小さいサイズ・大ききサイズについては、オーダーでの作成となる場合があります。値段は、通常の標準服と変わりません。
5年生からの標準服の導入は、子どもの成長を考えると買い替えが発生し、経済的な負担が大きいです。新5,6年生に対して、標準服はの無料配布をいただけませんか。	標準服の無償提供は、予定していません。ただし、就学援助世帯につきましては、標準服をはじめ、ステージ制移行に伴い発生する必要経費への援助について、庄内さくら学園の開校初年度は、令和5年4月1日時点で庄内さくら学園に在籍し、新5・6年生となる児童を対象に実施する予定です。
現行では、7年生で新入学生徒学用品費が支給されますが、5年生から標準服の導入に対する就学支援はありますか。	就学援助につきましては、新入学児童生徒学用品費は、1・7年生での支給となります。しかし、庄内さくら学園は、5年生から標準服を着用となります。そのため、標準服をはじめ、ステージ制移行に伴い発生する必要経費への援助について、庄内さくら学園の開校初年度は、令和5年4月1日時点で庄内さくら学園に在籍し、新5・6年生となる児童を対象に実施する予定です。詳細につきましては、学務保健課より順次案内してまいります。ただし、標準服を購入いただくまでには、支給が間に合わないと聞いています。なるべく早く支給できるように学務保健課で調整をいただいています。

【通学路に関すること】

質問内容	回答
1～4年生は南門から、5～9年生は、新あいさつロード中ほどの正門から登校となると、北側から登校する1～4年生は遠回りにならないでしょうか。	原則、1～4年生は南門、5～9年生はあいさつロード側の門からの登下校を想定しておりますが、第1回の保護者説明会でもご意見をいただきましたので、まずは、あいさつロードの北側から通われる児童については、あいさつロード側の門から登下校できるようにと考えています。学校が始まってから、混雑具合などの状況を見て、課題に応じた対応をいたします。
集団登校は継続されますか。集団登校が実施される場合学年はどうなりますか。1～9年生での実施となると班の人数が多くなり班長が面倒を見きれぬのでしょうか。	第1ステージ(1～4年)は、決められた集団登校班で登校します。
集団登校は、なぜ1～4年生での実施なのでしょう。通学路も長くなるため、第1,2ステージ(1～7年)で実施してほしいです。	集団登校の学年につきましては、現PTAの皆さまで協議いただき、第1ステージ(1～4年)となりました。
集団登校の学年とそれ以外の学年が兄弟でいる場合、集団登校班と一緒に登校してもよいでしょうか。	可能な範囲で第2ステージ以降の兄・姉も集団登校班に付き添っていただくと幸いです。
集団登校の班や集合場所はどのようになりますか。	学校とPTAで調整をいただいています。決まり次第、学校から保護者の皆さまにご連絡いたします。
集団登校に保護者の付き添いは可能でしょうか。	集団登校に保護者の皆さまが付き添っていただくと幸いです。
集団登校時の安全対策をしっかりとっていただきたいです。	これまで保護者・地域の皆さまと通学路の安全に関するワークショップを実施してきました。詳細は、こちら https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kosodatetorikumi/shonaimiryoku_school/shonai_sakura/schedule_iinkai.html https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kosodatetorikumi/shonaimiryoku_school/report.files/19tuushin.pdf をご覧ください。すべてが解決しているわけではありませんので、今後も豊中市として取組みを進めるとともに、保護者・地域の皆さまにもご協力をいただき、危険箇所での見守りへのご協力をお願いいたします。
集団登校だと、班長のみが安全確認をして、他の子どもたちは、ただ後ろについている状況です。子どもたちへの安全意識を指導するためには、個々での登校のほうがいいのではないのでしょうか。	子どもたちにもしっかりと交通安全への意識を持てるように、地区児童会や安全教育等を活用して指導してまいります。
始業式から集団登校との事ですが、事前に練習はあるのでしょうか。	年度末に現在の各校から庄内さくら学園に行き、その後地区児童会として、新しい集団登校の班の集合場所まで行く練習を予定しています。

【宿泊行事に関すること】

質問内容	回答
<p>宿泊行事について、転出入や私立中学校への進学などが想定されることから、これまでどおり6年生での修学旅行に変更いただけないでしょうか。</p>	<p>これまで様々な検討を進めてきた結果、宿泊行事につきましては、各ステージの最終学年のまとめとして位置づけ、4・7・9年で取り組むこととしています。</p>

【部活動に関すること】

質問内容	回答
<p>5,6年生は週1回の部活動の参加はどのようになるのでしょうか。また、7年生と同様に用具等を購入する必要がありますか。</p>	<p>部活動ごとに、5,6年生の参加方法を検討しているところです。また、7年生以上と同じようにユニフォームなど購入していただく必要はありません。ただし、部活動によっては、購入が必要なものがあります。</p>

【給食に関すること】

質問内容	回答
<p>給食について、1～6年生はセンター方式、7～9年生はデリバリー方式なのでしょうか。</p>	<p>文部科学省の栄養摂取基準では、小学生と中学生でわかれていることから、7年生からは、他の中学校と同様の献立を、委託した調理事業者が調理、配送するデリバリー方式の給食を提供いたします。主食と副食の1品は、小学校と同様に食缶で温かいものを提供します。副食3～4品はランチボックス形式で届けます。 ※現在、市内に2か所に学校給食センターがありますが、小学校に約2万食を提供しており、中学校給食の約1万食を提供できる能力がないため、中学校給食はデリバリー方式で提供しています。</p>

【その他】

質問内容	回答
<p>他市の小中一貫校や義務教育学校では、どのような成果をあげられているのでしょうか。</p>	<p>小中一貫教育の効果といたしまして、これまでも <ul style="list-style-type: none"> ・中学校への進学に不安を感じる児童が減少した ・いわゆる中1ギャップが緩和された ・上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった ・下級生に上級生に対するあこがれの気持ちが強まった などの成果が挙げられています。 庄内さくら学園におきましても、他市の好事例を参考にしながら、義務教育9年間の系統・連続的な教育活動を推進するとともに、独自カリキュラム等を実施することで、対話力・表現力だけでなく、将来展望や様々な生き方のモデルを提示しながら、子どもたちの学習意欲を高めてまいります。</p>

質問内容	回答
入学前に地域・保護者むけの内覧会はありますか。	地域・保護者の内覧につきましては、開校後での実施を予定しています。
庄内さくら学園は、避難所となるのでしょうか。	避難所として利用できます。庄内さくら学園開校、庄内・野田・島田小学校、庄内さくら学園中学校の閉校に伴う庄内さくら学園校区の避難所については、広報誌や市HPでの周知や、近隣住民の皆さまには担当からの説明等を予定しています。
まだまだ保護者の理解が進んでいないのではないのでしょうか。	これまで、説明会の開催や魅力ある学校づくり通信・さくらの花だよりなどコドモンを通じて、周知してきました。今後も、コドモンを通じた情報発信や、随時市電子申込システム、電話、メール等でも保護者の皆さまからの質問を受け付けています。今後、全体説明会の予定はありませんが、個別に内容のご説明にもお伺いいたしますので、お気軽に学校教育課計画係までご連絡ください。